

コロナにおける事業再構築

広報室編集長 服部 尋

世間で猛威を振るう新型コロナウイルスが発生し、そろそろ二年という月日が経とうとしています。そのような状況の中、経営者それぞれが少なからず影響を受け、変化を強いられたのではないかと思います。私の場合、コロナショックが発生する以前は印刷・製本が主業務となっておりましたが、私は『デザインを中心としたあらゆる販促物の製作』に事業を再構築する道を選びました。ただし、それは簡単な道ではありません。そこで、コロナの影響によって発展したオンラインのインフラに着目しました。まず、売るのは先に考えず、オンラインで協業できる仲間を作りました。その後、その人脈を『自社の技術として』集客する、という手法を取り入れることで、受注できる幅を大きくしました。その事業体に『まるまるブランディング』という名前を付け、現在は日本全国から受注をしています。

ワクチン接種をして

相羽 吉春

職域接種枠で八月中旬にワクチンを夫婦で二度摂取できました。ファイザー製だったため噂によると副作用があまりないとの事前情報でしたが、私自身は全く大丈夫でしたが、まんまと私の奥さんが二回目接種の次の日から丸二日間高熱等で多少副作用が起きました。しかし当の本人は「若い人の方が副作用出るって言けど、私出たね♡」としてやったりな表情でまんざらでもない様子だったので深刻にはならずに一安心できました。なかなかワクチンの順番が来ないなあと不満に感じていた時もありましたが、よくよく考えてみると、日本製ではない海外製のワクチンで、世界中が必要としているこの段階で、よくここまで量を抑えることが出来たなど、改めて初動の大切さ、政治力には感心致しました。今後の為にも、是非とも国産の薬、ワクチンも認可され、早く国から「風邪・インフルエンザと同等です」宣言が出る事を期待しております。

コロナ禍で工夫したこと

高吉 泰尋

弊社は足場を立てずに外装リフォーム工事を行うことをメインとしておりますが、コロナが広まり昨年五月ごろから外壁だけの売り上げが下がり、以前から要望のあった内装工事も受注するようになりました。慣れない工事の為、まだまだこれから学ぶことが多く大変な面もありますが新しい仕事を始めたことで需要が増し、結果的にメインである外装工事の間口が広がりとかな売り上げを上げることが出来ました。



また、全く違う業種で飲食店を池袋に、六月九日にオープンしており出店費用を事業再構築に応募したところ採択され、出店費用の大半が戻ってくるようになりました。

コロナ明けにやりたいこと

山口 幹夫

アフターコロナにやりたいことは二つあります。一つは社内の慰労会です。年に三回ほど行っていた定例の慰労会を二〇二〇年からできていないので、支えてくれていた社員と交流したいと思っています。もう一つはボードゲームのイベントです。

私は、二〇二〇年に「七つの習慣ボードゲーム公認ナビゲーター」になったものの、コロナ禍の影響でボードゲームのイベントを一年以上するところができていない状態です。七つの習慣の内容としてはテクニックではなく、人格を磨くことを習慣づけることで成功を維持しようというものであると私は考えています。が、このボードゲームを通して多くの人と知り合い、七つの習慣のエッセンスを、遊びを通じて伝えられたらいいと思っています。

なお、A-I-Jの皆様との交流はウィズコロナの中でも図っていきたいと思っていますので宜しくお願いします。

コロナ明けにやりたいこと

広報室 長岡 秀明

私はコロナが終息してやりたいことは、ただ一つ、家族旅行です。私自身、忙しいのもあり二〇一十六年に結婚をして新婚旅行に行ったのを最後に旅行には行けておりません。また去年は待望の第一子の長女が誕生したのもあり行くタイミングがありませんでした。

もし、願いがかなうなら高級オープンカーでもレンタルをして海沿いを爆走しながらどこか国内の温泉観光地にでも行つてのんびりと三泊くらいしてみたいです。

コロナの終息には、あとどれくらいかかるのだろうか？わかりませんが、数年かかるのなら娘もそこそこ大きくなり大人と同じ食事ができる様に成長していると思いますので一緒に美味しい物を食べ歩きなどもできるならしてみたいです。

また、いつの日か国内外、自由に旅行などに行き来できる日を待ちわびるのみです。